合志市農業委員会総会議事録

1. 開催日時 令和3年10月11日(月)午後1時27分から午後2時05分

2. 開催場所 合志市役所 2階大会議室

3. 出席委員(13人)

会長	14番	福嶋	求仁子
会長職務代理者	1番	大薮	真裕美
委員	2番	吉川	幸人
〃	3番	工藤	信夫
〃	4番	中嶋	サツ子
〃	5番	衛藤	彰一
〃	7番	吉岡	近
〃	8番	平野	昭代
〃	9番	峯	隆吉
〃	10番	嶋田	昭一
〃	11番	荒木	安孝
〃	12番	平山	洋生
〃	13番	村上	裕宣

4. 欠席委員

なし

5. 議事日程

(1)議事録署名者

(2)農家調査及び現地調査員

(3)議案

第1号議案 農地法第3条第1項の規定による許可申請について

第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請について

第3号議案 農業経営基盤強化促進事業における掘り起こしについて

第4号議案 あっせん委員の指名について

第1号報告 農地法第5条第1項第7号の規定による農地転用(届出)について

6. 農業委員会事務局職員

局長 坂上 範 行

次長 竹田 直 広

主幹 秋吉 秀 美

○事務局長 それでは、ただいまより令和3年10月の農業委員会総会を開会いたします。
開会にあたり、福嶋会長からご挨拶を申し上げます。

○会長（福嶋求仁子君） 皆さん、こんにちは。お疲れさまです。合志のほうカントリーが8日からお米の受け入れが始まりまして、今、米の刈り取りが最盛期ではないかと思えますけど、長らく雨が降っていなかったんですけど、きょうは黒石のほうは雨が土砂降り而降っていたというのを伺ってびっくり今したところですけども、雨は欲しいんですけど稲刈りの終わりまでは乾いてほしいなあと思ったところでした。

きょうは、朝からちょっと気になる良い言葉をたくさんラジオとかテレビで聞いたものですから、ひとつよろしいでしょうか。読書のすすめということでNHKのほうでお話があったんですけど、1日2ページ集中して本を読んだり新聞を読んだりすると、40歳の脳が20代の脳に変わっていくという話がありました。それと、やはり高齢者の場合には認知機能が改善されるので、1日2ページでいいから集中して何かを読みましようということをおっしゃっていました。

それから、そのあとにまた車を走らせてラジオを聞いていましたら、何でもやってみる、そこから必ず何か生まれるということをおっしゃってまして、なんか1日話がつながっていったかなあと思ったところでした。

また、高齢者の認知機能が良くなるということを知って、実は私の義理の母が94歳なんですけれども、いまだ介護も心配なく元気にやっているんですけど、義理の母の趣味が新聞を読むことで、毎日新聞を隅から隅まで読んでるので、これというのはきょう聞いたお話なのかなあと思ったところでした。

さて、きょうは皆さん、先週に「のうねん」というのが入っていたかと思うんですけども、年金の特集になっております。一部令和22年度から少し変わる部分もありますので、この件につきましては、また合志市でも勉強を進めていきたいと思っておりますので、11月か12月ぐらいにでも研修の日程がとればいかなあと思っております。また、それに併せてコロナの患者さんのほうも本当にゼロに常に近づいていただければうれしいなあと思ったところでございます。

きょうは余談からスタートいたしましたけれども、どうぞきょうの総会も最後までご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○事務局長 それでは、本日の総会の成立についてご報告いたします

本日は、農業委員13名全員の委員さんがおそろいでございます。よって、合志市農業委員会会議規則第6条の規定により、過半の委員がおそろいでございますので、本日の総会が成立することをご報告いたします。

それでは、このあとの議事につきましては、会議規則により、会長より進行をお願いいたします。

○議長（福嶋求仁子君） それでは、会議前に注意事項を申し上げます。会議中の携帯電話につきましては、電源を切られるかマナーモードにされますようお願いいたします。また、会議中での委員の私語につきましては、慎んでいただきますようお願いいたします。特に何かご質疑やご質問があれば、挙手により発言をするようお願いいたします。

-----○-----

（１）議事録署名者

○議長（福嶋求仁子君） それでは、３の議事に入ります。議事録署名者につきましては、11番の荒木委員、12番の平山委員を指名しますのでよろしくをお願いいたします。

-----○-----

（２）農家調査及び現地調査員

○議長（福嶋求仁子君） 農家調査及び現地調査員につきましては、３番の工藤委員、５番、衛藤委員、８番、平野委員、９番、峯委員、12番、平山委員、以上５名の委員さん方へ適宜意見をお伺いいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

-----○-----

（３）議案

○議長（福嶋求仁子君） それでは、議案に入ります。

第１号議案、農地法第３条第１項の規定による所有権移転につきまして上程いたします。

所有権移転、番号１につきまして、事務局に説明を求めます。

○事務局 それではご説明申し上げます。議案書１ページをお開きください。

番号１、申請人の住所、氏名、土地の表示につきましては議案書のとおりとなっています。申請の理由は、親子間での贈与でございます。

続けて申請地の場所ですが、議案書、別紙１ページ、菅原神社の西側図面中央下

の斜線部分3筆と図面の中央の上の部分、上生川沿い3筆が申請地です。

次の2ページ3ページが現況の写真です。

4ページ5ページは保有機械の写真です。

次に6ページをお開きください。

まず、第1号の全部効率利用要件についてですが、保有機械、労働力、技術面からみて耕作する農地のすべてを効率的に利用できると見込まれ、該当しません。

第2号の農地所有適格法人の要件についてですが、譲受人は個人であり、該当しません。

第3号の信託要件は信託ではないので該当しません。

第4号の農作業常時従事要件は、年間150日以上農作業を行うと見込まれ、該当しません。

第5号の下限面積要件につきましては、耕作面積が50a以上のため、該当しません。

第7号の地域との調和要件ですが、長年水田として利用されており、今後も、水稻を植えられます。周辺農地への支障はないものと考えられ該当しません。

以上1号から7号まで該当する項目はないと思われます。

よろしくお願ひいたします。

○議長（福嶋求仁子君） 事務局の説明に関連いたしまして、担当地区の12番、平山委員に農家及び現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。

○12番（平山洋生君） それでは、農家及び現地調査につきましてご報告いたします。

9月30日、私と安永推進委員と事務局で現地調査をいたしました。今回の申請理由は親子間での生前贈与です。申請人家族は、熊本県植木町で長年お米と菊の花の栽培をされている農家です。今回譲渡人からの希望により申請にいたしました。今後も続けて水稻を作付けされます。よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

ただいま事務局、委員さんからの説明が終わりました。この件に関しまして委員さん方から何かご意見やご質疑はございませんでしょうか。特にございませんか。

（なしの声あり）

○議長（福嶋求仁子君） ご意見、ご質問がないようでございますので採決を行います。第1号議案、農地法第3条第1項の規定による所有権移転、番号1について、承認することに異議がない方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。全員挙手でございます。

よって、第1号議案、農地法第3条第1項の規定による所有権移転、番号1は、原案のとおり可決されました。

続きまして、第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用につきまして上程いたします。

所有権移転、番号1につきまして事務局に説明を求めます。

○事務局 それでは説明申し上げます。議案書の2ページをお願いいたします。

所有権移転番号1の譲受人、譲渡人、土地の表示、地目、面積につきましては議案書に記載してあるとおりです。

転用目的は堆肥乾燥施設への転用で、売買による所有権移転です。

議案書別紙の7ページをお願いします。図面中央の太枠斜線部分が番号1の申請地で、県道熊本大津線の南側、セミコンテクノパークの北西側に位置する農地です。次の8ページが申請地の現況です。

次の9ページが配置図です。申請者は養鶏業を営む法人で、当該申請地を売買により取得し、堆肥乾燥施設を建築する計画です。

10ページをお願いします。まず、(1)の立地基準についてですが、次の11ページでお示ししておりますとおり、申請地は農振農用地区域内にある農地であり、原則許可することはできませんが、農振法の規定に基づき農業用施設用地に用途変更されているため、農振法に規定する農用地利用計画に指定された用途に該当し許可可能です。

(2)の一般基準についてですが、1の資力及び信用については、残高証明の添付があり、事業費以上の資金が確保できることを確認しております。

3の遅滞なく供することの妥当性については、事業計画書に基づく配置計画図等も添付されており、許可後直ちに事業に着手し、令和4年1月末日までに竣工の予定であり問題ないと思われま。

6の計画面積の妥当性については、各施設の配置及び規模に不合理な点は見当たらず問題ないものと思われま。

8の周辺農地等に係る営農条件への支障の有無については、地元委員さんと事務局とで現地調査を行い問題ないことを確認しております。

9の農地の利用集積への支障の有無については、農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障はないものと思われま。

事務局からの説明は以上でございます。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

事務局の説明に関連いたしまして、担当地区の5番、衛藤委員に現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。

○5番（衛藤彰一君） 現地調査につきまして報告いたします。

令和3年9月30日の午前、私と宮寄推進委員と農業委員会職員とで現地調査を行い、申請者より申請内容等をお聞きしました。農地法の許可要件につきましては、事務局より説明がありましたとおりでございます。

今回の申請は、譲受人が堆肥乾燥施設として農地を転用するものでございます。申請地は農振農用地ですが、農業用施設用地に指定されており、その用途に沿った堆肥乾燥施設に転用するので、何ら問題はないかと思えます。

よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

ただいま事務局、委員さんからの説明が終わりました。この件に関して、委員さん方から何か意見やご質疑はございませんでしょうか。ご意見はございませんか。

(なしの声あり)

○議長（福嶋求仁子君） ご意見、ご質問がないようでございますので採決を行います。

第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用、所有権移転、番号1について、承認することに異議がない方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。全員挙手でございます。

よって第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用、所有権移転、番号1は、原案のとおり可決されました。

なお、この案件につきましては、転用規模が3,000㎡を超えるため、許可に際しましては農地法第5条第3項の規定に基づき、熊本県農業委員会ネットワーク機構へ意見聴取を行います。

続きまして、第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用につきまして上程いたします。

所有権移転、番号2につきまして事務局に説明を求めます。

○事務局 それでは説明申し上げます。議案書の2ページをお願いいたします。

所有権移転番号2の譲受人、譲渡人、土地の表示、地目、面積につきましては議案書に記載してあるとおりです。

転用目的は宅地分譲地7区画への転用で、売買による所有権移転です。

議案書別紙の13ページをお願いします。図面中央の太枠斜線部分が今回の申請地で、県道大津西合志線及びきくちのまんま合志店の南側側に位置する農地です。

次の14ページが申請地の現況です。

写真にありますフェンスにつきましては、現所有者の自宅が申請地の東側にあり、農地を含めて自宅の敷地として使用してきたため設置されていました。転用の際には撤去されます。

次の15ページが配置図です。申請者は不動産業を営む法人で、当該申請地を売買により取得し、宅地分譲地7区画を整備し販売する計画です。

16ページをお願いします。まず、(1)の立地基準についてですが、申請地は集落内開発区域内にある農地で、次の17ページにお示ししておりますとおり、おおむね10ha以上の規模の一団の農地の区域内存在する農地であることから、第1種農地となり、原則転用することはできませんが、例外規定の住宅その他申請地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で、集落に接続して設置されるものに該当するため許可可能です。

(2)の一般基準についてですが、1の資力及び信用については、金融機関発行の残高証明の添付があり、事業費以上の資金が確保されていることを確認しております。

3の遅滞なく供することの妥当性については、事業計画書に基づく配置計画図等も添付されており、許可後直ちに事業に着手し、令和5年3月末までに竣工の予定であり問題ないものと思われま。

検討事項4につきましては、都市計画法に基づく開発許可の申請手続きに向けての準備を進められている状況です。

6の計画面積の妥当性につきましては、住宅各戸の配置、規模に不合理な点は見当たらず問題ないものと思われま。

8の周辺農地等に係る営農条件への支障の有無については、地元委員さんと事務局とで現地調査を行い問題ないことを確認しております。

9の農地の利用集積への支障の有無については、農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障はないものと思われま。

11の法令により義務付けられている行政庁との協議の進捗状況については、都市計画法第32条に基づく同意協議書が合志市都市計画課に7月30日付けで提出済であ

り、協議済であることを確認しております。

事務局からは以上でございます。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

事務局の説明に関連いたしまして、担当地区の8番、平野委員に現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。

○8番（平野昭代君） それでは、現地調査につきまして報告いたします。

令和3年9月30日の午前、私と山崎推進委員、農業委員会職員とで現地調査を行い、申請代理人より申請内容等をお聞きしました。農地法の許可要件につきまして、事務局より説明がありましたとおりでございます。

今回の申請は、譲受人が宅地分譲7区画として農地を転用するものでございます。申請地は第1種農地ですが、集落接続要件を満たしているため何ら問題はないかと思えます。よろしくご審議の方をお願いいたします。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

ただいま、事務局、委員さんからの説明が終わりました。この件に関して、委員さん方から何かご意見やご質疑はございませんでしょうか。質問はございませんか。

(なしの声あり)

○議長（福嶋求仁子君） ご意見やご質問がないようでございます。採決を行います。

第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用、所有権移転、番号2について、承認することに異議がない方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。全員挙手でございます。

よって第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用、所有権移転、番号2は、原案のとおり可決されました。

続きまして、第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用につきまして上程いたします。

所有権移転、番号3につきまして事務局に説明を求めます。

○事務局 それでは説明申し上げます。議案書の3ページをお願いいたします。

所有権移転番号3の譲受人、譲渡人、土地の表示、地目、面積につきましては議案書に記載してあるとおりです。

転用目的は個人住宅への転用で、売買による所有権の移転です。

議案書別紙の19ページをお願いします。図面中央の太枠斜線部分が番号3の申請地で、国道387号線及び三菱電機の西側に位置する農地です。

次の20ページが申請地の現況です。

次の21ページが配置図です。申請者は個人で、当該申請地を売買により取得し、平屋建て住宅1棟を整備する計画です。

22ページをお願いします。まず、(1)の立地基準についてですが、次の23ページでお示ししておりますとおり、おおむね10ha以上の規模の一団の農地の区域内存在する農地であることから、第1種農地となり、原則転用することはできませんが、例外規定の住宅その他申請地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるものに該当するため許可可能です。

(2)の一般基準についてですが、1の資力及び信用については、金融機関発行の融資証明書及び贈与契約書の添付があり、事業費以上の資金が確保できることを確認しております。

3の遅滞なく供することの妥当性については、事業計画書に基づく配置計画図等も添付されており、許可後直ちに事業に着手し、令和4年3月末日までに竣工の予定であり問題ないと思われます。

検討事項4につきましては、都市計画法に基づく開発許可の申請手続きに向けての準備を進められている状況です。

6の計画面積の妥当性については、住宅の配置及び規模に不合理な点は見当たらず問題ないものと思われます。

8の周辺農地等に係る営農条件への支障の有無については、地元委員さんと事務局とで現地調査を行い問題ないことを確認しております。

9の農地の利用集積への支障の有無については、農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障はないものと思われます。

11の法令により義務付けられている行政庁との協議の進捗状況については、都市計画法第32条に基づく同意協議に向けて現在協議中であることを確認しております。

事務局からの説明は以上でございます。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

事務局の説明に関連いたしまして、担当地区の9番、峯委員に現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。

○9番（峯 隆吉君） それでは、現地調査につきまして報告します。

令和3年9月30日の午後、私と高司推進委員、農業委員会職員とで現地調査を行い、申請代理人より申請内容等をお聞きしました。農地法の許可要件につきまして、事務局より説明があったとおりでございます。

今回の申請は、譲受人が個人住宅として農地を転用するものでございます。また、無断転用により砂利敷きがされており、現状の土地にさらに手を加え使用することとございます。申請地は第1種農地ですが、集落接続要件を満たしているため、転用もやむを得ないかと思えます。よろしくご審議をお願いします。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

ただいま、事務局、委員さんからの説明が終わりました。この件に関して、委員さん方から何かご意見やご質疑はございませんでしょうか。質問はございませんか。

（なしの声あり）

○議長（福嶋求仁子君） ご意見やご質問がないようでございますので採決を行います。

第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用、所有権移転、番号3について、承認することに異議がない方は挙手をお願いいたします。

（挙手全員）

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。全員挙手でございます。

よって第2号議案、農地法第5条第1項の規定による農地の転用、所有権移転、番号3は、原案のとおり可決されました。

続きまして、第3号議案、農業経営基盤強化促進事業における掘り起こしにつきまして上程いたします。事務局に説明を求めます。

○事務局 それでは、第3号議案、農業経営基盤強化促進事業における掘り起こしについて説明いたします。

5ページをお開きください。

令和3年第10回の農用地利用集積計画総括表につきまして左側の区分、今回からご説明いたします。

利用権設定10年の田が613㎡、畑が2,867㎡でしたので合計3,480㎡でございます。5年の田が7,346㎡、畑は18,461㎡でしたので合計25,807㎡でございます。

今回の田の小計は7,959㎡、畑の小計は21,328㎡でしたので合計29,287㎡ござ

います。

続きまして、右側の利用権設定の本年累計、暦年につきましてご説明をいたします。

田の小計は203,262㎡、畑の小計は345,938㎡で合計549,200㎡でございます。

下から2段目、左側の所有権移転につきましてご説明をいたします。

今回の田の小計は1,353㎡、合計1,353㎡でございます。

ページ右側の所有権移転の本年累計につきましてご説明をいたします。

田の小計は16,816㎡、畑の小計は31,763㎡で合計48,579㎡でございます。

続きまして一番下、所有権移転（転用関係）についてご説明いたします。

農業経営基盤強化促進法による転用につきましては、これまであまり例がない申請方法であり、委員さん方にとってもなじみがないものだと思いますので、基本的な部分からご説明いたします。

まず、農地法による転用と、農業経営基盤強化促進法による転用の違いについてですが、農地法による転用につきましては、許可要件を満たす申請であれば、申請者、転用の用途に特段縛りはありません。

それに対し、農業経営基盤強化促進法につきましては、転用目的が農業用施設への転用であって、認定農業者等の担い手が、新たに農地の権利を取得する場合にのみ対象となります。認定農業者であっても、自己所有地の転用であれば農地法第4条申請を行ってもらうことになります。

提出いただく書類につきましてはどちらも変わりはなく、基盤強化法だから簡略化されているということはありません。どちらも詳細な事業計画書や配置図、資金計画書等が必要となります。

農地転用許可要件につきましては、農業経営基盤強化法の基本要綱により、農地法に基づく農地転用の許可基準上許可し得るものであると認められるものと規定されておりますので、以下は通常の農地転用の審査項目に従いご説明いたします。

議案書別紙25ページをお開き願います。

図面中央の太枠斜線部分が番号1の申請地で、西合志カントリーエレベータの南東側、桑木鶴団地の西側に位置する農地です。

次の26ページが申請地の現況です。

次の27ページが配置図です。申請者は畜産業を営む法人で、当該申請地を売買により取得し、牛舎・飼料置場及び牛の運動場を建築する計画です。

28ページをお願いします。まず、(1)の立地基準についてですが、次の29ページでお示ししておりますとおり、申請地は農振農用地区域内にある農地であり、原則許可することはできませんが、農振法の規定に基づき農業用施設用地に用途変更されているため、農振法に規定する農用地利用計画に指定された用途に該当し許可

可能です。

(2)の一般基準についてですが、1の資力及び信用については、残高証明の添付があり、事業費以上の資金が確保できることを確認しております。

3の遅滞なく供することの妥当性については、事業計画書に基づく配置計画図等も添付されており、令和3年11月1日より事業に着手し、令和3年12月末日までに竣工の予定であり問題ないと思われま。

6の計画面積の妥当性については、各施設の配置及び規模に不合理な点は見当たらず問題ないものと思われま。

8の周辺農地等に係る営農条件への支障の有無については、地元委員さんと事務局とで現地調査を行い問題ないことを確認しております。

9の農地の利用集積への支障の有無については、農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障はないものと思われま。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

ただいま事務局からの説明に関連いたしまして、転用案件の担当地区の3番、工藤委員に現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。

○3番（工藤信夫君） それでは、現地調査につきましてご報告いたします。

先月、9月30日の午後、私と楯本推進委員さん、それと農業委員会職員とで現地調査を行い、申請者より申請内容をお聞きしました。農地法の許可要件につきましては、事務局より説明がありましたとおりでございます。

今回の申請は、譲受人が牛舎・飼料置場及び牛の運動場として農地を転用するものでございます。申請地は農振農用地ですので、農業用施設用地については許可可能です。その用途に沿った施設に転用するもので、何ら問題はないかと思いま。

よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（福嶋求仁子君） それでは、事務局、お願いいたします。

○事務局 以上、第3号議案は農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えま。

次の6から9ページ中段までは、各自でご確認をお願いいたします。

次に、9ページ下段の農地法第18条第6項の規定（合意解約）による通知書の集計を報告いたします。

今回の合意解約件数は、1件、2,779㎡でございます。

内契約予定件数が、1件、2,779㎡でございます。これで説明を終わります。

事務局からの説明は以上でございます。

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。

ただいま事務局、それから委員さんからの説明が終わりました。委員さん方から何かこの件に関しまして質問はございませんでしょうか。特に質問はございませんか。

（なしの声あり）

○議長（福嶋求仁子君） それでは、ご意見、ご質問がないようでございますので採決を行います。

第3号議案、農業経営基盤強化促進事業における掘り起こしにつきまして、承認することに異議がない方の挙手をお願いいたします。

（挙手全員）

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。全員挙手でございます。

よって、第3号議案、農業経営基盤強化促進事業における掘り起こしにつきましては、原案のとおり可決されました。

続きまして、第4号議案、農地のあっせん委員の指名につきまして上程いたします。事務局に説明を求めます。

○事務局 それでは説明申し上げます。議案書10ページをお開きください。

番号1、あっせん申出者の住所、氏名、申出内容、土地の表示、地目、面積につきましては議案書のとおりとなっています。

続けて申請地の場所ですが、11ページになります。

図面中央及び下部太枠斜線部分が申請地で、県道熊本菊鹿線及びユーパレス弁天の西側に位置する農地です。

あっせん申し出の理由としましては、遊休農地化していた農地をきれいにしたものの自身では耕作ができないためです。

あっせん委員についてですが、申請地区域の担当委員であります吉川委員、坂口推進委員をお願いします。

事務局からの説明は以上でございます。

○議長（福嶋求仁子君） ただいま事務局からの説明が終わりましたが、何かご質疑はございませんでしょうか。この件に関しまして何もございませんか。

(なしの声あり)

○議長（福嶋求仁子君） それでは、質問、ご意見がないようでございますので採決を行います。

第4号議案、農地のあっせん委員の指名につきまして、承認することに異議がない方の挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

○議長（福嶋求仁子君） ありがとうございます。全員挙手でございます。

よって、第4号議案、農地のあっせん委員の指名につきましては、原案のとおり可決されました。

あっせん委員さんにおかれましては、大変ご苦労さまでございますがよろしくお願いたします。

それでは、議長を職務代理と交代いたします。

○会長職務代理者（大藪真裕美君） 続きまして、第1号報告、農地法第5条第1項第7号の規定による農地の転用届出につきまして上程いたします。

事務局に説明を求めます。

○事務局 それでは説明します。12ページをお開き願います。

今回の市街化区域内の農地転用5条届出につきましては、議案書の12ページに記載しておりますとおり、所有権移転1件の届出がっております。

続けて、場所を説明します。13ページをお開きください。

図面中央やや右側の太枠網目部分が所有権移転番号1の届出地です。須屋区で九州自動車道の南側に位置する土地で、宅地分譲のための転用です。

事務局からは以上でございます。

○会長職務代理者（大藪真裕美君） ありがとうございます。

ただいま事務局から第1号報告、農地法第5条第1項第7号の規定による農地の転用届出についての説明が終わりました。委員の皆様から何かご質疑等はございませんか。よろしいですか。

(なしの声あり)

○会長職務代理者（大藪真裕美君） ご意見、ご質疑もないようでございますので、第1号報告、農地法第5条第1項第7号の規定による農地の転用届出につきましては、以上で報告を終わります。会長に議長を交代いたします。

-----○-----

（4）閉会

○議長（福嶋求仁子君） それでは、長時間にわたりまして慎重審議をいただきましてありがとうございました。

以上をもちまして、令和3年10月の合志市農業委員会総会を閉会いたします

。

-----○-----

閉 会 午後2時05分